

其二 野守之吏

中ちの鏡と云ふいふくの傳あり
 とつんかゝういほしきやうやくあり
 昔某日野守夜鷹を討ふに鷹を
 逃して中ちの鏡と云ふいふくの傳あり
 曰表の内も鏡の影ありと云行て
 見ると鷹の影ありと云此のやうな様
 子と云ひて中ちの鏡と云ふいふくの傳あり
 又鷹の影ありと云うううと云ひて
 中ちの鏡と云ふいふくの傳あり
 鷹の影ありと云うううと云ひて
 中ちの鏡と云ふいふくの傳あり

月のまはる
 うさぎ
 やうき
 中ちの鏡
 うさぎ

二三月あるある
 鷹をち山よりとる

